

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ！！
情報交流課 ☎230040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



杉本市長のもとを訪れた山野邊さん（右）

ミス・コンテスト日本代表を目指す

■ミス・グランド・ジャパン静岡代表が市長訪問

3月6日に静岡市民文化館で開催された「BEST OF MISS 静岡大会」で「ミス・グランド・ジャパン静岡代表」に選出された山野邊亜実さん（牧之原区）が3月29日、杉本市長を表敬訪問しました。

7月以降に開催予定の日本大会出場に向け、杉本市長は「体調に気をつけ、日本代表になることを祈っています」とエールを送りました。山野邊さんは「体調を万全に整え、日本代表に選出されるよう訓練に取り組めます」と笑顔で意気込みを語りました。

市の魅力をお茶の香りと共に届ける

■第1回お茶はがきデザインコンテスト 表彰式

市茶業振興協議会の「静岡牧之原茶宣伝隊」が「お茶はがき」のデザインコンテストを行い、3月20日に市史料館で表彰式を開催しました。

はがき大の一煎茶パックであるお茶はがきは、宛名を記入する欄があり、切手を貼ればそのままお茶を送ることができます。全国から寄せられた87作品の中からグランプリに選ばれた杉山琴美さん（細江区）の作品は、市茶業振興協議会のお茶はがきのパッケージに採用され、静岡牧之原茶のPRに活用されます。



グランプリに輝いた杉山さん（中央）ら受賞者

春の訪れを告げる満開の桜並木

■勝間田川沿いの桜が見頃

勝間田川沿いの桜が3月17日に開花し、3月下旬に見頃を迎えました。

この桜は昭和31年、旧・榛原町の合併記念として、勝間田川が桜の名所になることを願って植えられたものです。毎年、見頃の時期には堤に沿って約600本の桜のトンネルができ、夜間はライトアップも行われています。

堤には市内外から多くの人々が訪れ、満開の桜のトンネルの下を歩いたり、写真を撮ったりするなど、春を満喫していました。



ライトアップされ幻想的に浮かび上がる満開の桜

「この日のみ」の素敵な商品と出会う

■この日のみの市

市商工会が3月28日、市内の生産者を消費者の皆さんにもっと知ってもらおうと、「この日のみの市」を市役所相良庁舎駐車場で開催しました。

会場では、市商工会農業地場産品部会（赤堀有彦会長）の14店舗が、この日のために開発した商品や自慢の品を販売。また、市内宿泊・飲食メンバー有志によるお弁当の販売も、同時に開催されました。

来場者は「この日しか出会うことのできない商品」の買い物を楽しみました。



「少年少女ノーベル賞」を受賞した皆さん（前列）

美術など各分野で優秀な成績

■牧之原市教育委員会表彰 表彰式

「牧之原市教育委員会表彰」表彰式が3月12日、市役所相良庁舎で開催されました。

本年度の表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、「少年少女ノーベル賞」のみ授与する形で実施しました。「少年少女ノーベル賞」は、教育の各分野において全国規模の大会やコンクールなどで8位同等以上の成績を収めた人を対象とするものです。

市長および教育長からは、各受賞者への賛辞と今後の更なる活躍への期待が話されました。

静岡のものづくりを支える人材に

■杉本市長に技能五輪全国大会金賞受賞を報告

ものづくりの技術を競う「第58回技能五輪全国大会」の旋盤職種で、最高賞の金賞を受賞した山本雄理さん（浜松市）が3月1日、杉本市長を表敬訪問しました。

本市出身の山本さんは、現在は本田技研工業のトランスミッション製造部に所属。「今後は後輩に技術を継承し、金賞を獲れるよう指導したい」と抱負を語りました。杉本市長は「さらに技術を伸ばし、静岡のものづくりを支えてもらいたい」とエールを送りました。



杉本市長に受賞の喜びを報告した山本さん（右）

地域の課題解決に向けて

■地域リーダー育成プロジェクト 活動報告会

榛原高校・相良高校の生徒と地域の大人と一緒に地元・牧之原市について考える事業「地域リーダー育成プロジェクト」の活動報告会が3月13日、坂部区民センターで行われました。

報告会では、生徒が特産品や観光、グルメなど、13のプロジェクトで1年間取り組んできたことを、グループごとに発表しました。

榛原高校2年の澤島さくらさんは「参加したことで市民であることの実感や喜びを感じ、さらに牧之原市に愛着が湧きました」と話しました。



1年間取り組んできたプロジェクトについて発表する高校生



ケルソー市の紹介に真剣に耳を傾ける児童

国際交流や相互理解の視野を広める

■姉妹都市・ケルソー市に関する学習

相良小学校4年生86人が3月5日、社会科の「国際交流に取り組む地域」の学習の一環で、本市と姉妹都市である米国ワシントン州ケルソー市の様子や交流事業の内容について学びました。

この授業は、子どもたちが国際交流や相互理解への視野を広めるきっかけを作ろうと企画されたものです。同校体育館で行われた授業では、国際交流協会の三浦進会長や理事が、ケルソー市や協会の取り組みについて説明。児童は身近で行われているさまざまな交流について学びました。